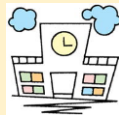




百名っ子 No.13



令和7年12月25日(木)
南城市立百名小学校
文責 校長 竹下晴康

一人一人を大切にする温かい学校目指して

二学期終業式講話(要旨) —みんな頑張った2学期—

今日のお話は、2学期の頑張りを写真を使いながら振り返っていきます。表紙の写真はレッドリボンですね。みんなのあたたかい気持ちが出ていました。長かった2学期が今日で終わります。79日間よく頑張りました。

まず、学校テーマ「心を燃やせ! 最高の笑顔 百名っ子」に向かって頑張りました。よいテーマを決めてもらったなあと思います。

このテーマに向かってがんばったことを振り返ります。

まずは、運動会です。心が燃えてみんな最高の笑顔でした。

ただ走る、踊るだけでなく、「協力する姿」「仲間を応援する姿」「相手を称える姿」など、心の内側から燃えるような熱意が伝わってきました。5、6年生が一生懸命に踊る姿、走る姿に感心しました。また、係も立派に努めてくれました。

運動会だけでなく、2学期は縦割り班活動でも素晴らしい姿がたくさん見られました。

特に高学年のお兄さん、お姉さんたちが優しく声をかけたりする姿は、まさに百名小学校のよさでした。低学年の子たちも、笑顔で活動できました。これはみんなで協力し、心を一つにできた証拠です

次に3つの「あ」について振り返ります。まずは「あんぜんに生活できる学校」です。避難訓練に真剣に取り組み、廊下を走らず落ち着いて行動できました。自分の命や友達の命を守るという大切な目標のために、真剣に取り組みました。

次に「安心して生活できる学校」です。困っている友達に声をかける優しさ、いじめをしない・見過ごさない行動。みんなが安心できるからこそ、心から笑えます。

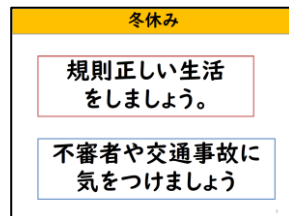
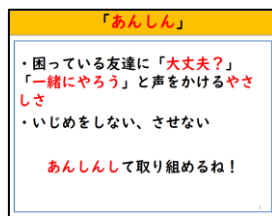
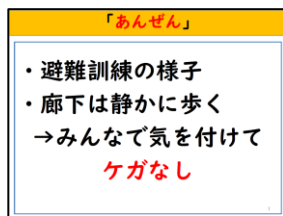
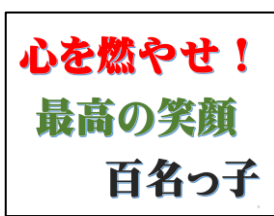
最後に、授業中や清掃中、日頃の生活の中で「ありがとう」が飛び交っていました。ありがとうは心を温かくする魔法の言葉です。この言葉が増えたことで、学校があたたかい場所になりました。

このように、2学期はみんなの頑張りのおかげで、百名小学校は3つの『あ』がしっかりと実を結び、ますます素敵な学校になりました。先生はとても嬉しく思っています。

(冬休み中の生活について) ・規則正しい生活 ・不審者、交通事故に気を付けること

3学期の始業式に、全員が元気にこの場所に集まることが一番大切です。命を守るため、安全に過ごす約束をしっかりと守ってください。

来年の4月から、皆さんは学年が一つ上がります。3学期中に一つ上の学年として成長した姿で学校生活が送れるように、冬休みの時間を有効に使ってください。そして元気な姿で1月6日に会いましょう。



募金贈呈式 12/11(木) ※児童会

百名小学校児童会は、「赤い羽根募金」の取り組みをしました。ねらいは、「①募金活動を通して、助け合いの心や思いやりの心を育む。」「②一人一人の優しさが、周りの人の幸せにつながることを学ぶ機会とする。」ことです。

児童会は募金期間の11月17日から11月21日までの2週間、校内放送で呼びかけました。熱心な活動の結果、集まった募金は全部で(20,442)円にもなり、南城市社会福祉協議会へ贈呈しました。児童そして保護者の皆様ご協力ありがとうございました。

